

# 痛み伴う統廃合

## 魚津の未来図

市長選・市議選12日告示

<下>

魚津市の静かな丘陵地に立つ新川学びの森天神山交流館(同市天神野新)。普段はピアノの音色やコーラスの響く施設だが、3月18日の夜は違った。

「どうすれば文化の大切さを伝えられるか」。ピアノ講師や調律師、吹奏楽団員らでつくる「新川学びの

森利用促進会議」のメンバーが話し合っていた。

市は、2021年3月末までに交流館を廃止する方針を示し、民間に譲渡する

などの道を探るとした。存続を願う利用者らは促進会議をつくり、話し合いを続けている。

交流館は、旧洗足学園魚津短大の校舎だった。音楽科があった名残で防音の練習室が37室あり、ピアノ34台や打楽器、珍しい管楽器を備える。促進会議に加わる森内ゆう子さん(50)は

## 財政再建で不可避

同市吉島は「こんな施設はなかなかない。文化の灯を絶やしたくない」と語る。

### 年間5億円不足

少子高齢化による社会保障費増や統合小学校建設費がかさみ、市の財源不足は深刻だ。年間約5億円の財源不足を解消し、災害に備える基金を積み立てるには、公共施設の統廃合は避けられない。

市が19年度末に策定した再編方針は、統合、譲渡、廃止を目指す施設に28カ所を挙げた。公的施設の管理に詳しく、昨年、市内であ

魚津市の公共施設再編の概要

再編方針	譲渡や廃止、調査中とした主な施設
統合を目指す 12	新川学びの森天神山交流館 21年3月末までに廃止。民間譲渡や民間活力を活用
譲渡を目指す 5	総合体育館 21年3月末で廃止
廃止を目指す 11	弓道場・吉田グラウンド 25年3月末までに廃止
調査中 1	市民プール 民間の資金やノウハウを活用したPFI導入の可能性を調査中
維持 113	

「新川文化ホールと類似している」と廃止を容認する意見の一方で、「魚津ならではの特色がある」と存続を強く求める声が出た。

市は廃止の理由に、維持経費とともに稼働率の低さを挙げた。促進会議のメンバーは利用者を増やし、交流館の魅力を発信することで生き残りを図る策がないか探っている。

### コロナ禍が影響

20年度は5カ年の財政健全化計画が始まる「行財政改革元年」だ。市は4月に公共施設の使用料を値上げしたが、ここでも新型コ

外出自粛によって魚津水族館などは休館し、他の施設も軒並み利用が落ち込む。市の公共施設再編推進室長を務める富居幹生企画総務部長(58)は「出鼻をくじかれた感はある。それでも、コロナ終息後に利用が増えるように魅力を磨くしかない」と話す。

促進会議は、交流館の魅力を伝えるイベントを6月に企画したが開催できるかは未定だ。森内さんは「一人の心がすぎみやすい今こそ、文化が必要になる。行政に頼りすぎるのではなく、一緒に知恵を出していきたい」と前を向いた。

## 市の施設



来年3月末までに廃止する方針となった新川学びの森天神山交流館

魚津市天神野新